

〔筑前國續風土記一提要〕總論

天文十二年、日本國中每國の知行高を玄るし、其簿を將軍家に獻す、是を民俗には天文の繩と云。筑前國三十三万五千六百九十石と玄るせり、小早川中納言秀秋、此國を領せられし時は、田畠の町數二万九千六百九十三町餘、田畠高三十万八千四百六十一石ありしとかや、是怡士郡公領を近きころに至つては、庶民大平の化に浴し、子孫増え玄げくさかへて、年々に口數も増りぬれば、山をひらき野をあらきはりして、田圃年々に多く廣まれり、福岡、秋月、直方、及怡士郡公領、唐津領までかぞへては、田圃凡五萬町計成べし、○中略

筑前國十五郡田畠高

那珂郡	四万二千四百六十六石五斗餘	早良郡	四万五千九十五石七斗餘	志摩郡
四万三千七百九十三石九斗餘	怡士郡	一万八千三百九十四石餘	表粕屋郡	四万三
百三石二斗餘	裏粕屋郡	二万三千百九十六石三斗餘	席田郡	九千八十四石三斗餘
御笠郡	三万七千四百七十四石餘	夜須郡	一万千九百三石餘	下座郡 <small>福岡領</small>
一万五千百三十六石餘	上座郡	二万五千五百九十六石餘	嘉摩郡 <small>福岡領</small>	一万九千
八百八石餘	穗波郡	二万九千四百六十七石五斗餘	鞍手郡 <small>福岡領</small>	三万四千六百九
十二石餘	遠賀郡	四万七千六百二十七石七斗餘	宗像郡	五万六千二百五十八石餘
福岡領都合田畠高五十万二百九十九石八斗八升餘	内畠高九万三百十九石九斗四升餘	〔日本鹿子十四〕	筑前國十一郡、中上國、南北四日、○中略	知行高五十二万二千五百十二石、
〔官中秘策五〕	筑前國廿一郡○中略			
一石高六拾万六千九百八拾壹石餘				

〔吹塵錄五〕人口及國高天保度御國高調○中